

3. 家族・家庭のこと

< 家族・家庭への評価 >

問7 家族・家庭のことについてお聞きます。

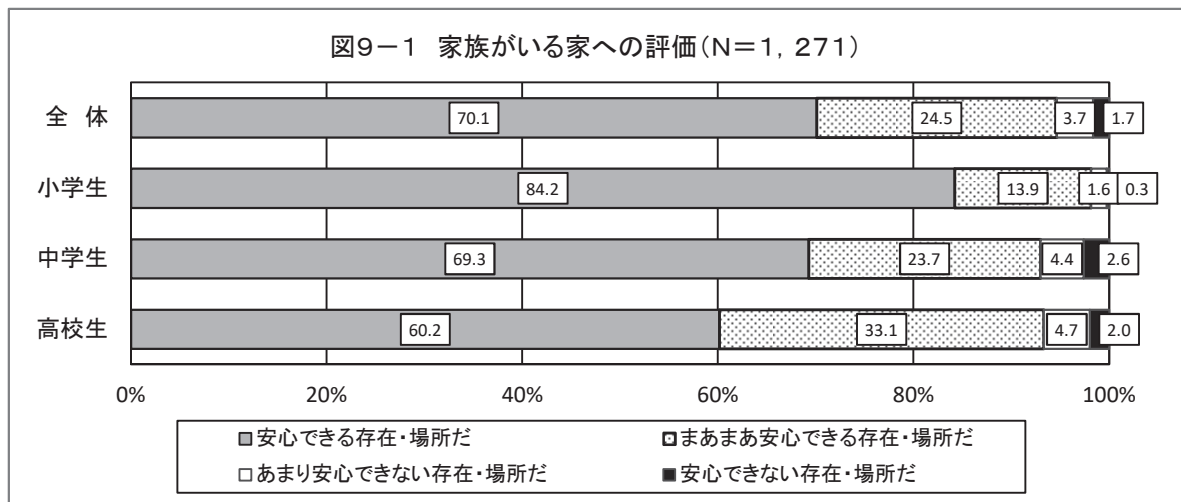
(1) あなたにとって、家族・家庭は、安心できる存在・場所ですか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

家族・家庭が安心できる存在・場所かどうか尋ねたところ、「安心できる存在・場所だ」が70.1%で最も高い。「安心できる存在・場所だ」と「まあまあ安心できる存在・場所だ」を合わせた『安心できる存在・場所だ』は、94.6%となっている。

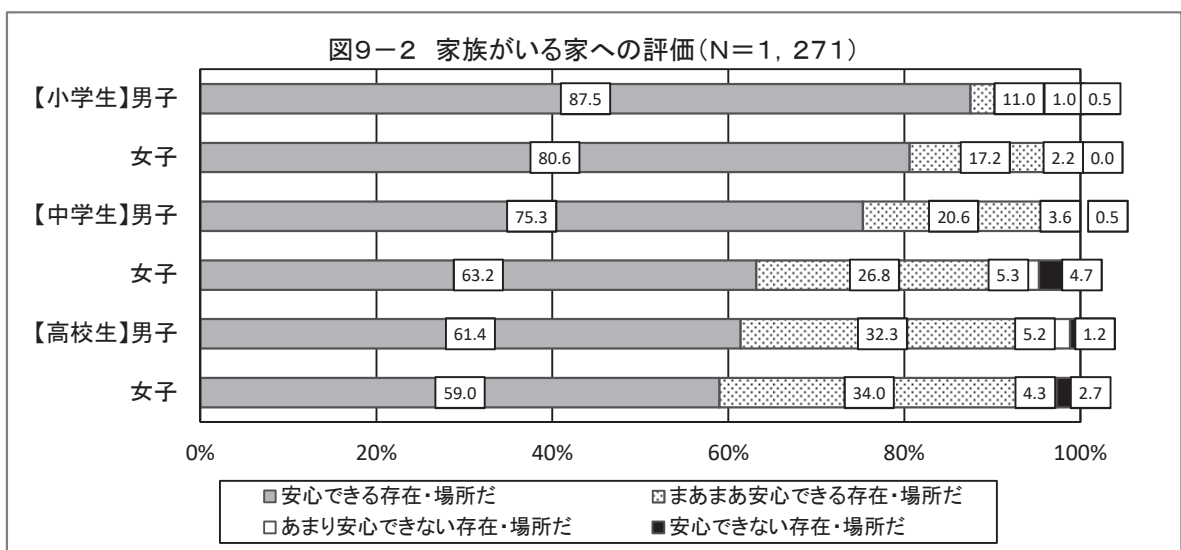
【学校種別集計結果】

『安心できる存在・場所だ』を見てみると、小学生が98.1%で最も高く、以下、高校生(93.3%)、中学生(93.0%)となっている。



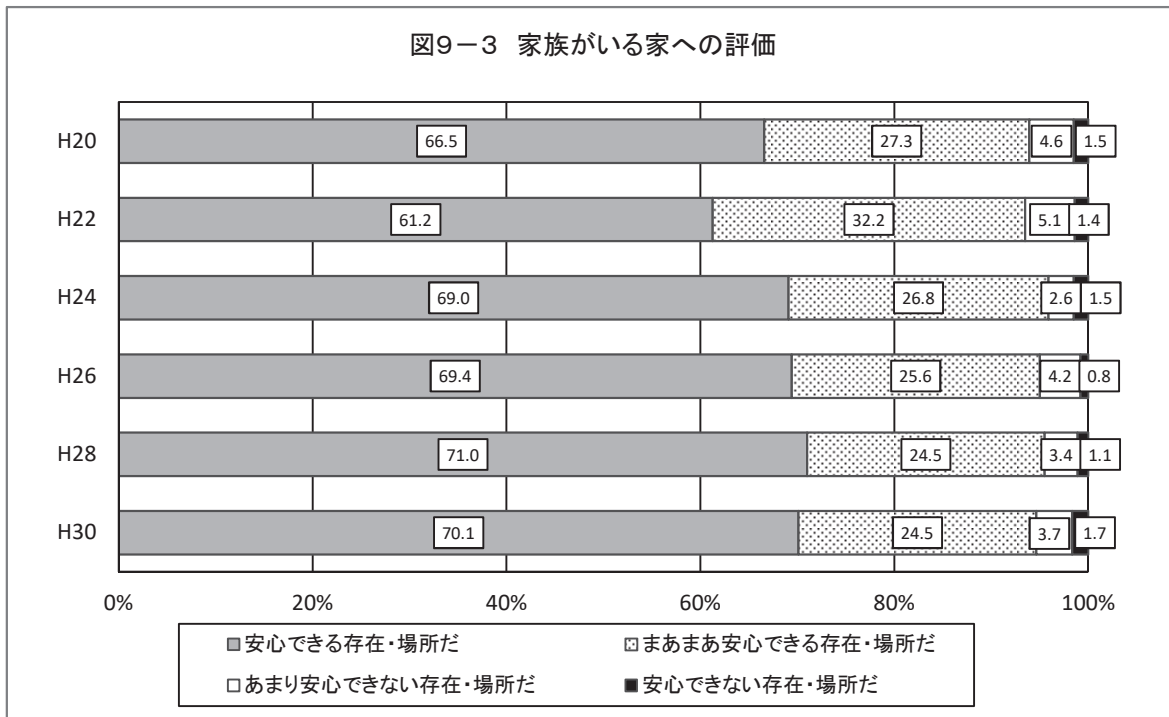
【属性別集計結果】

『安心できる存在・場所だ』を見てみると、小学男子が98.5%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも男子のほうが女子よりも高いが、大きな差は見られない。



【経年変化】

『安心できる存在・場所だ』については、24年度からほぼ横ばいとなっている。



< 家族との会話の頻度 >

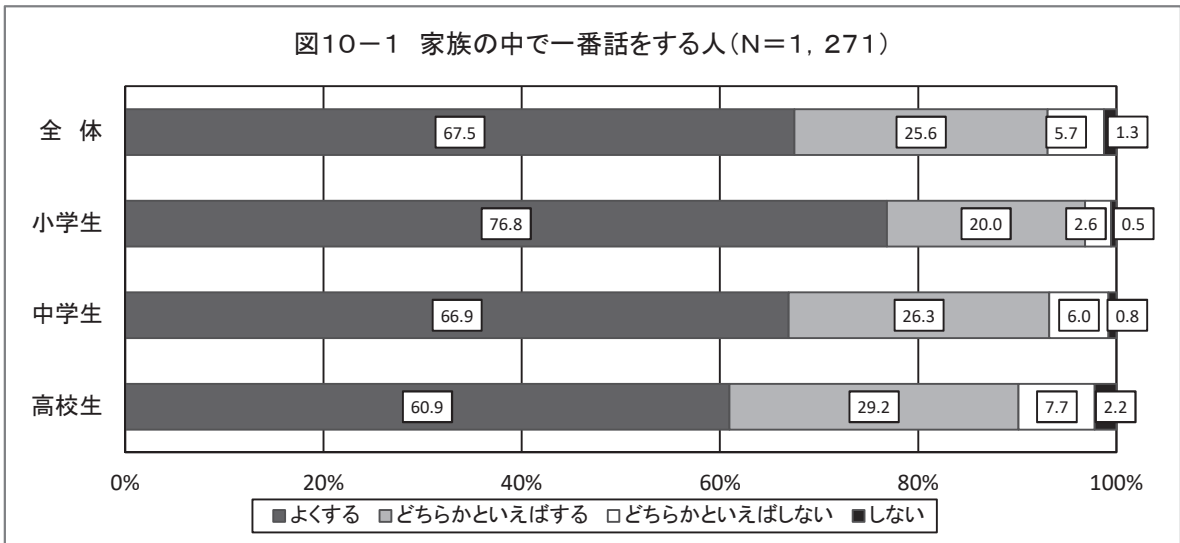
(2) あなたは、家族とよく話をしますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

家族とよく話をするかについて尋ねたところ、「よくする」が67.5%で最も高い。「よくする」と「どちらかといえばする」を合わせた『する』は93.1%となっている。

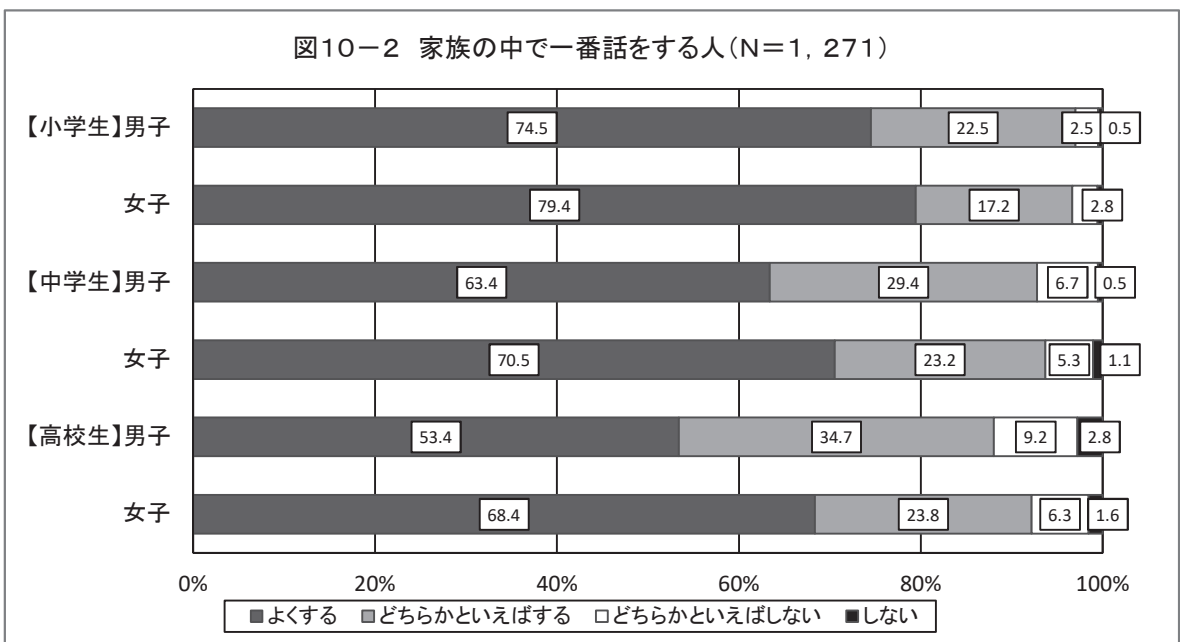
【学校種別集計結果】

『する』を見てみると、小学生が96.8%で最も高く、以下、中学生(93.2%)、高校生(90.1%)となっている。



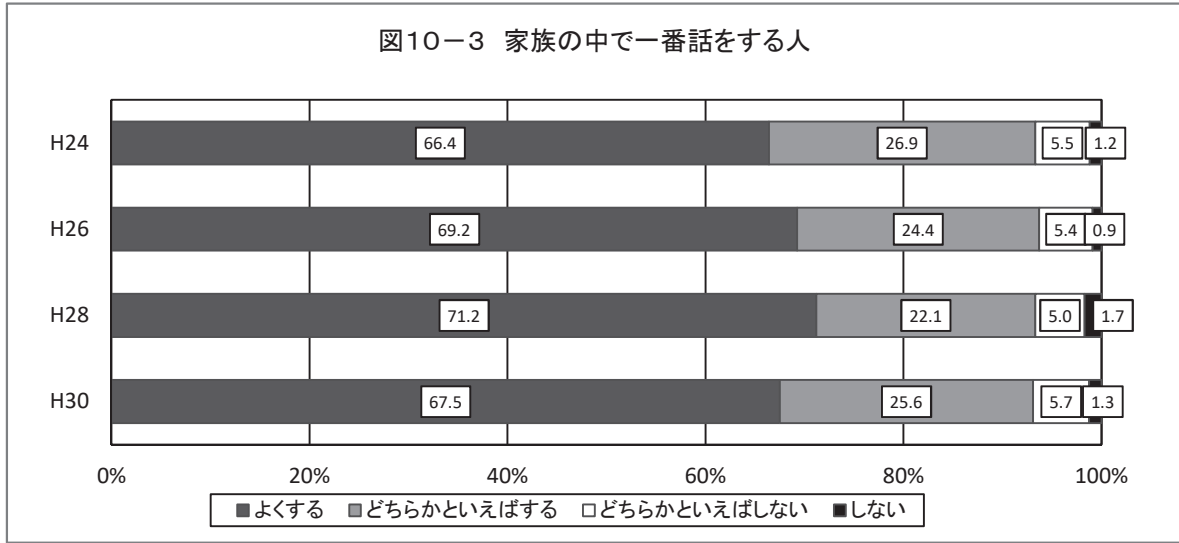
【属性別集計結果】

『する』を見てみると、小学男子が97.0%で最も高い。また、小学生、中学生では男女の差はあまり見られないが、高校生では女子のほうが男子よりも4.1ポイント高い。



【経年変化】

『する』については、ほぼ横ばいとなっている。



< 家族との約束ごと >

(3) あなたは、毎日の生活について、家族と約束ごとをしていることがありますか。あてはまるものをいくつか選んでください。 ない場合は、13を選んでください。

【全体集計結果】

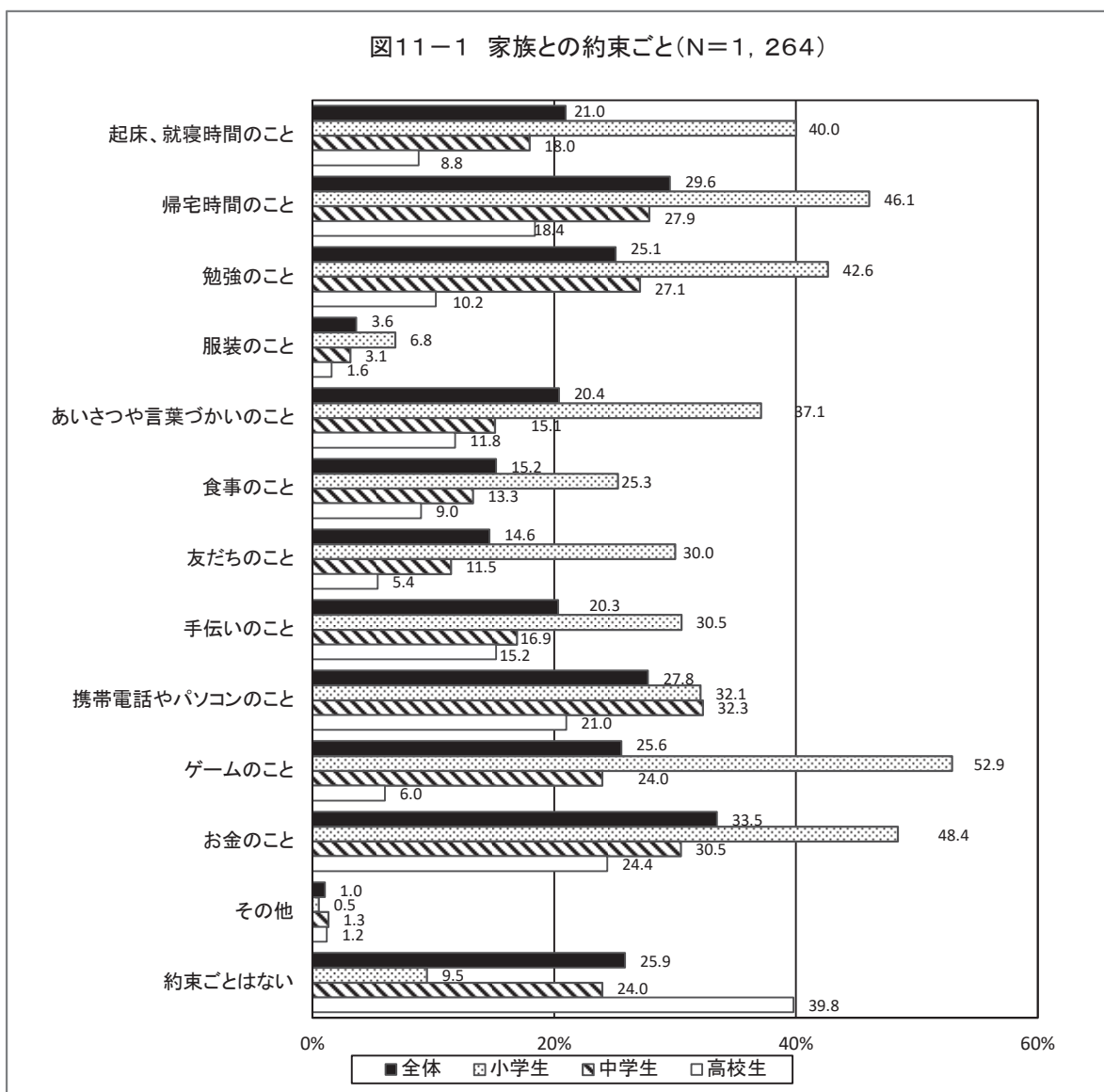
家族との約束ごとについて尋ねたところ、「お金のこと」が33.5%で最も高く、以下、「帰宅時間のこと」(29.6%)、「携帯電話やパソコンのこと」(27.8%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「ゲームのこと」が52.9%で最も高い。以下、「お金のこと」(48.4%)、「帰宅時間のこと」(46.1%)などとなっている。

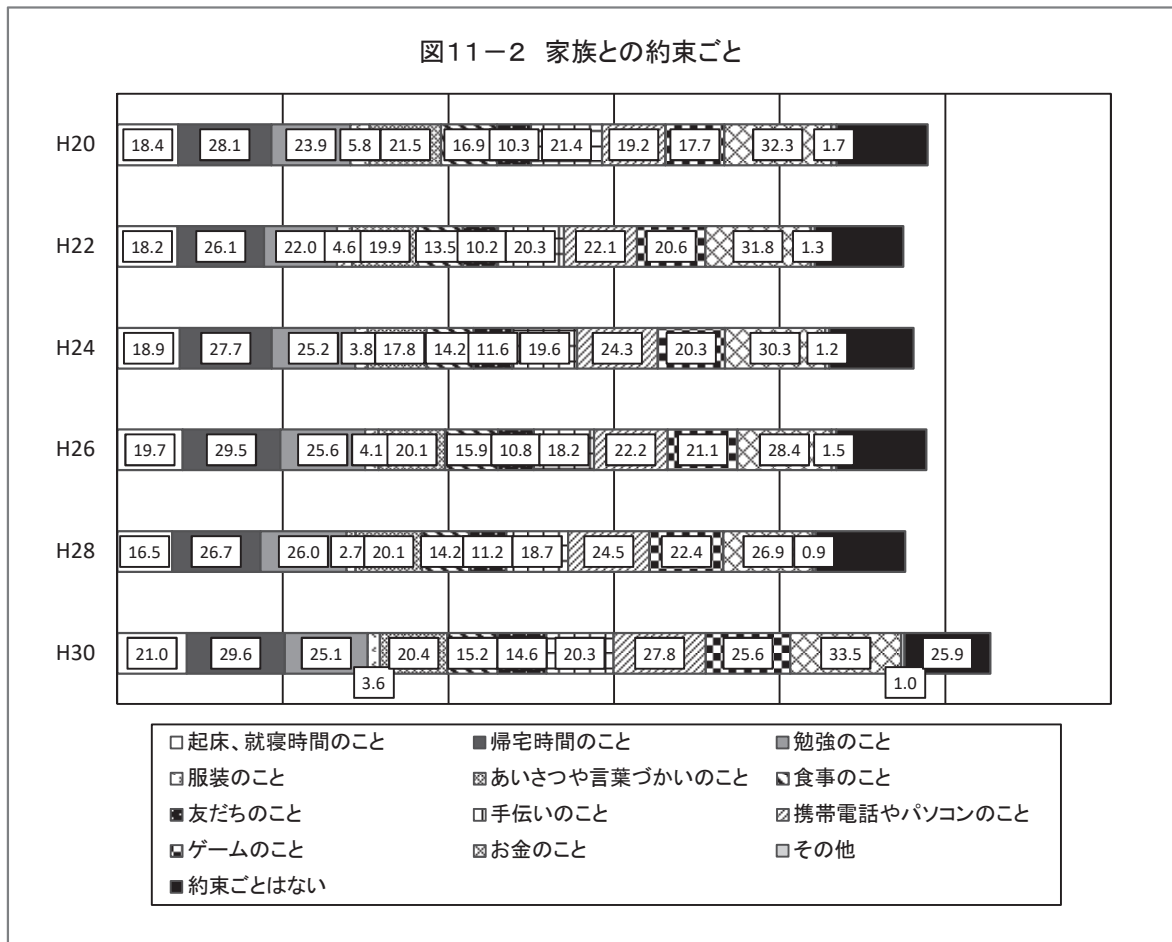
中学生では、「携帯電話やパソコンのこと」が32.3%で最も高い。以下、「お金のこと」(30.5%)、「帰宅時間のこと」(27.9%)などとなっている。

高校生では、「約束ごとはない」が39.8%で最も高い。以下、「お金のこと」(24.4%)、「携帯電話やパソコンのこと」(21.0%)などとなっている。



【経年変化】

過去の調査と比較すると、「携帯電話やパソコンのこと」「ゲームのこと」が増加している。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれの割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

- 「ゲームのこと」(60.5%)
- 「お金のこと」(52.0%)
- 「勉強のこと」(42.5%)

〈小学女子〉

- 「帰宅時間のこと」(56.1%)
- 「ゲームのこと」(44.4%)
- 「お金のこと」(44.4%)

〈中学男子〉

- 「お金のこと」(32.0%)
- 「勉強のこと」(30.4%)
- 「ゲームのこと」(29.4%)

〈中学女子〉

- 「携帯電話やパソコンのこと」(37.9%)
- 「帰宅時間のこと」(30.0%)
- 「お金のこと」(28.9%)

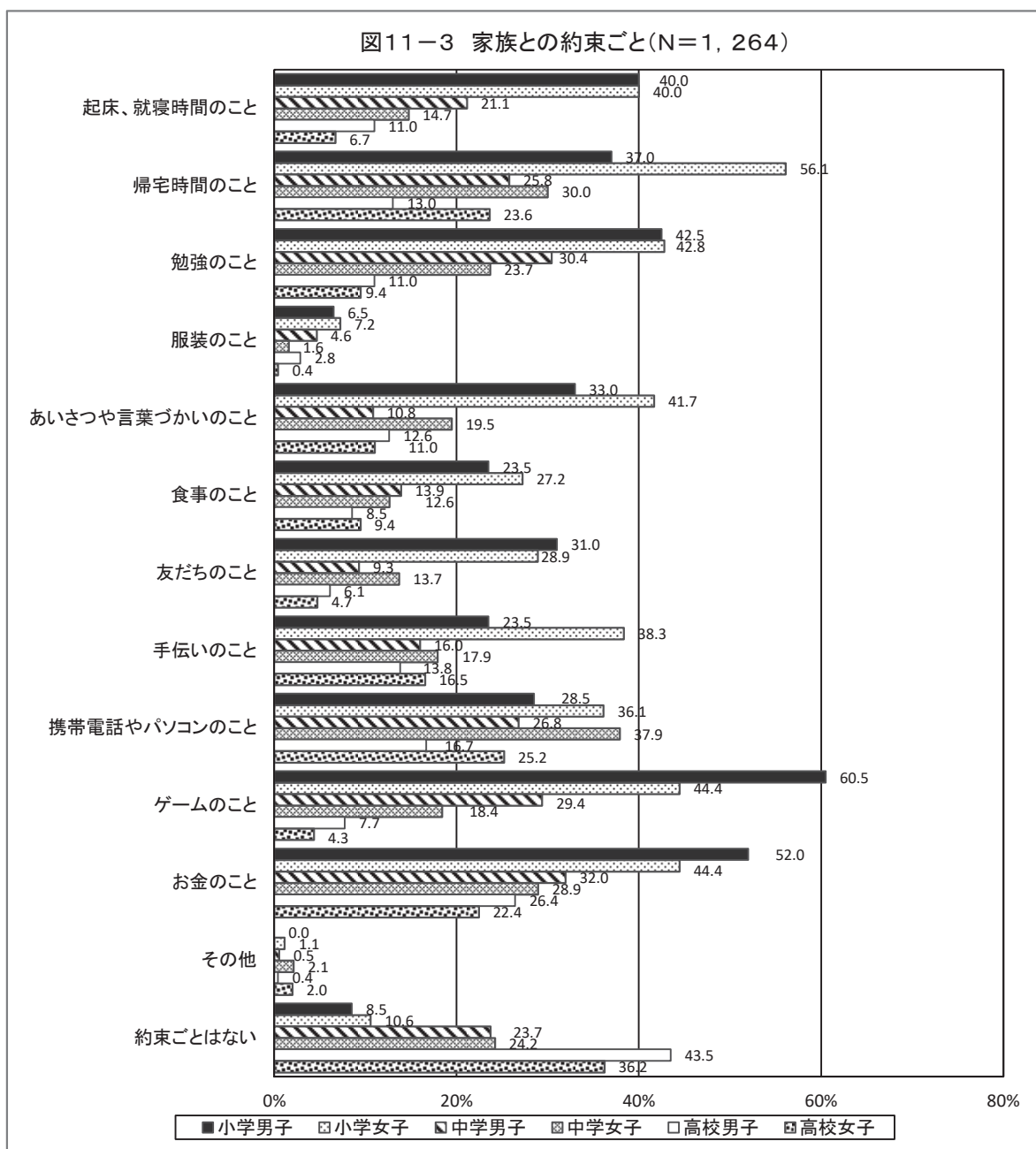
〈高校男子〉

- 「約束ごとはない」(43.5%)
- 「お金のこと」(26.4%)
- 「携帯電話やパソコンのこと」(16.7%)

〈高校女子〉

- 「約束ごとはない」(36.2%)
- 「携帯電話やパソコンのこと」(25.2%)
- 「帰宅時間のこと」(23.6%)

図11-3 家族との約束ごと(N=1,264)



<家族や家庭に大切なこと>

(4) あなたは、家族や家庭には何が大切だと思いますか。もっとも大切だと思うものを、一つ選んでください。

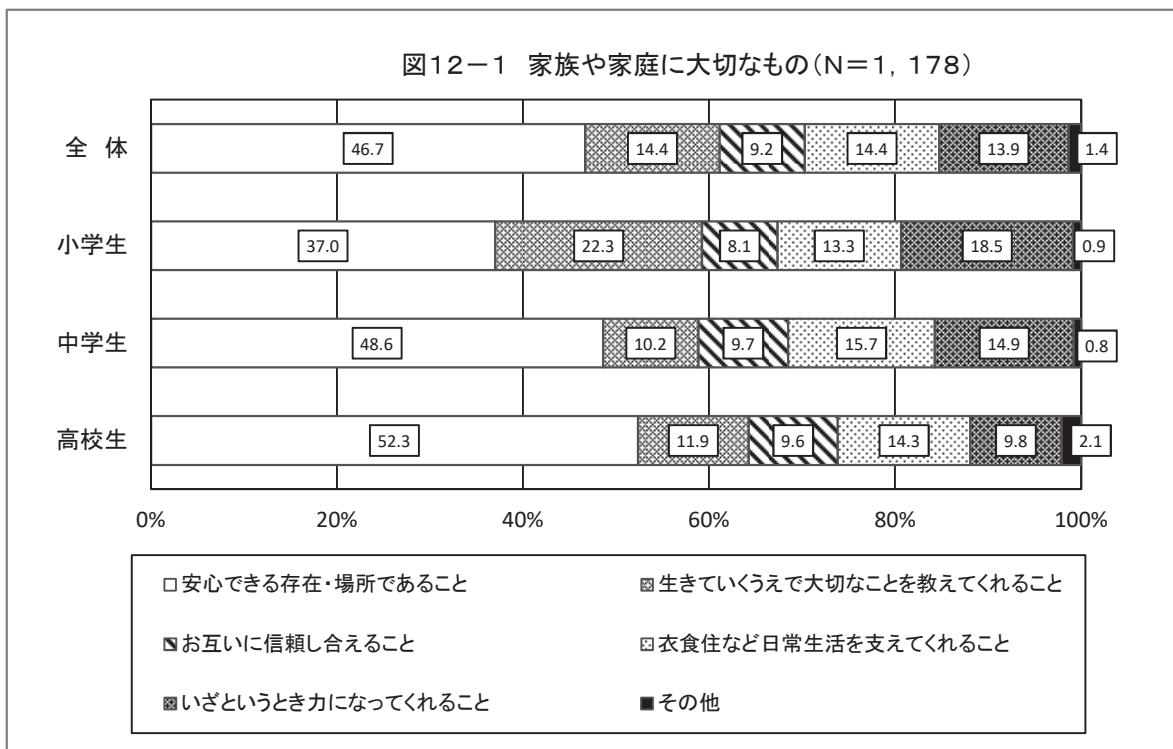
【全体集計結果】

家族や家庭に大切なものについて尋ねたところ、「安心していられる存在・場所であること」が46.7%で最も高く、以下、「生きていくうえで大切なことを教えてくれること」(14.4%)、「衣食住など日常生活を支えてくれること」(14.4%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

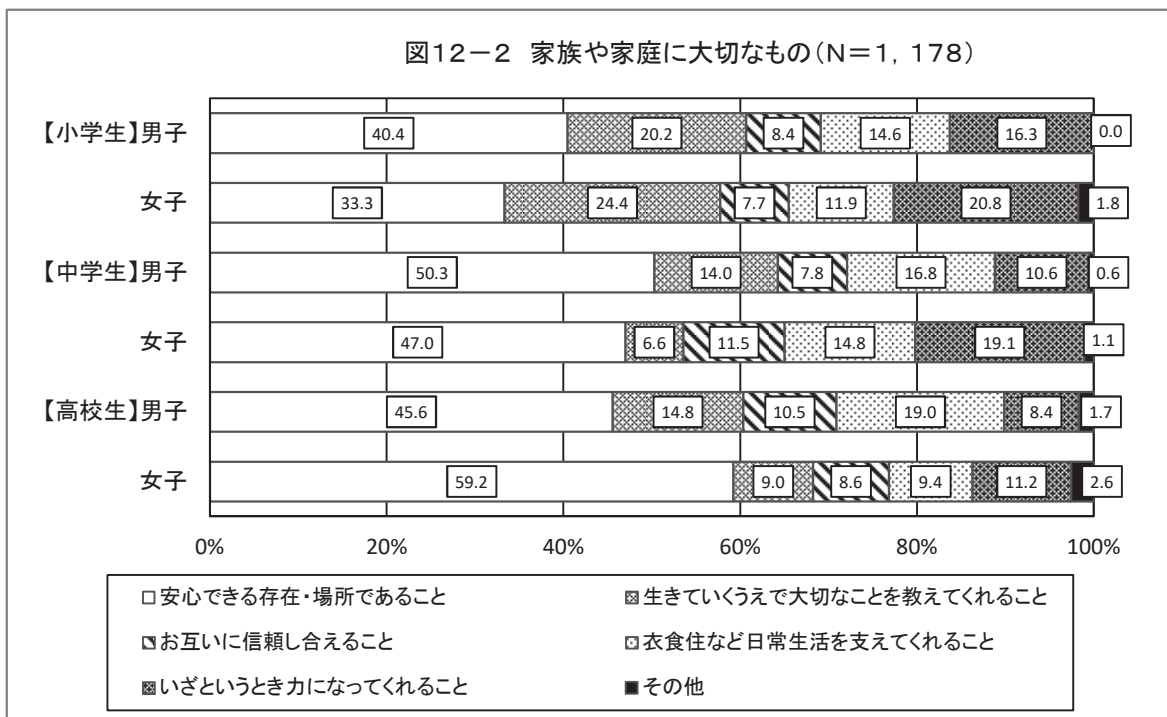
小学生、中学生、高校生のいずれも、「安心していられる存在・場所であること」(小学生:37.0%、中学生:48.6%、高校生:52.3%)の割合が最も高い。

以下、小学生では「生きていくうえで大切なことを教えてくれること」(22.3%)、中学生では「衣食住など日常生活を支えてくれること」(15.7%)、高校生では「衣食住など日常生活を支えてくれること」(14.3%)などとなっている。



【属性別集計結果】

男女差に着目すると、小学生では、「安心できる存在・場所であること」で、男子のほうが女子よりも7.1ポイント高い。
 中学生では、「いざというとき力になってくれること」で、女子のほうが男子よりも8.5ポイント高い。
 高校生では、「安心できる存在・場所であること」で、女子のほうが男子よりも13.6ポイント高い。



【経年変化】

「安心できる存在・場所であること」が、どの調査年度においても高い割合を占めているが、「お互いに信頼しあえること」については減少傾向にある。

